

## 単元名

## 「かたちづくり」

- 日 時 令和2年11月13日（金） 第4校時 11:30～12:15  
 ○ 場 所 第1学年1組教室  
 ○ 学 級 第1学年1組（男子17名 女子14名 計31名）

## ◆単元の概要

本単元では、点と点を線で結んでかいた三角形、四角形を組み合わせる動物を描く活動を単元のゴールとして設定します。色板を並べたり、数え棒を並べたりする中で、三角形や四角形は点と直線によってできていることを捉えさせます。四角形を、二つの三角形、二つの正方形として見ることで、図形について豊かな感覚を身に付けさせます。

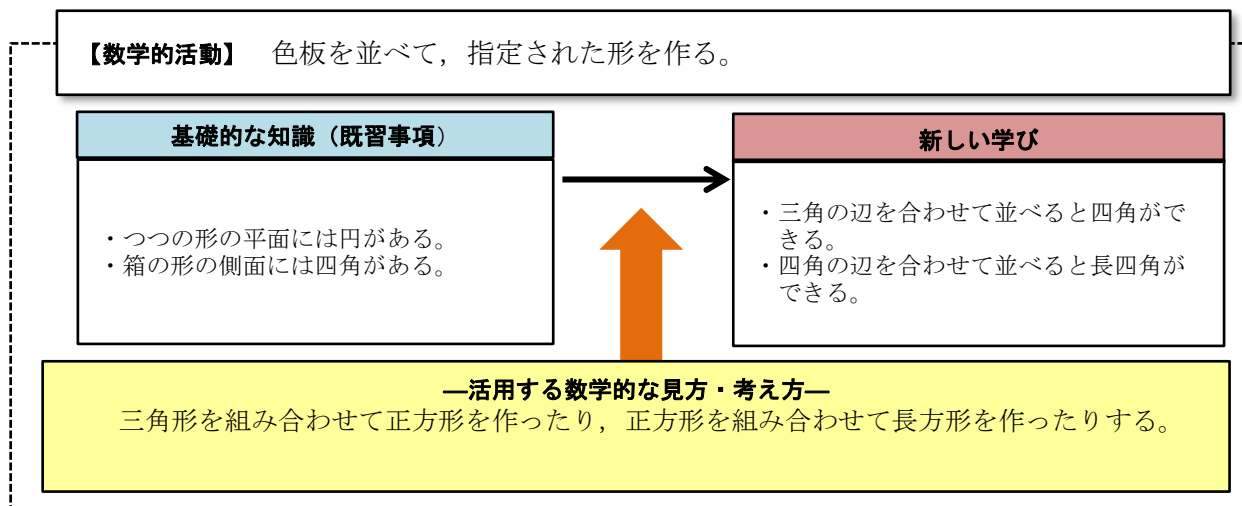
## ◆単元の計画（全6時間）

学習過程	指導のポイント■ 各教科等との関連【】
<b>【課題の設定（1時間）】課題づくり</b> 1 色板を並べていろいろな形を作り、形を使った絵を描く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             三角や四角の形を使っていろいろな絵をかこう。           </div>	■ たくさん色板を自由に並べて好きな形を作る活動を通して、同じ三角の形でもたくさんの形を作ることができるという感覚をもたせる。
<b>【情報の収集（3時間）】図形の操作</b> 2 簡単な図形を、別の形に変形させる。 3 第1時で作った友達の作品を再現する。 <b>（本時）</b> 4 数え棒を使って、友達の作った作品を再現する。	■ 第1時でいろいろな形を作ることができた理由について、簡単な図形の変形をすることでどんな操作方法があったか言語化させる。【国語科】 ■ 友達の作った作品を作る活動の中で、ずらす、まわす、裏返すの操作方法を試させる。
<b>【整理分析・まとめ（1時間）】まとめ・発展</b> 5 格子点を利用して、これまで作ってきた形や新しい形を描き、絵を描く。	■ 格子点をつないでできた形の角の数、直線の数が同じものをまとめ、3つのものは三角、4つのものは四角と分類する。【図画工作科】
<b>【実行・振り返り（1時間）】作品紹介</b> 6 友達に、どんな形を使って絵を描いたかを紹介する。	■ 三角形、四角形、それ以外の形があることに着目させ、自分がどの形を使って、何を描いたのか説明をさせる。【国語科】


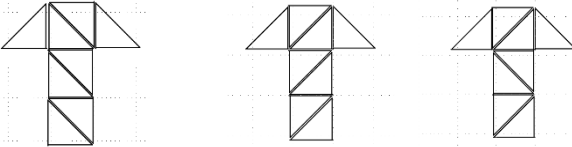
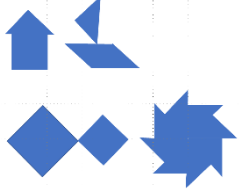
## ◆ 本時の目標（3/6時）

色板を用い、シルエットにあわせて形作りをする活動を通して、三角形の並べ方を変えて、いろいろな形を作ることができる。（知・技）

## ◆ 研究主題とのかかわり



◆ 学習展開

	学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した児童への手立て)	評価規準 (○) (評価方法)
つかむ	<b>1 学習課題をつくる</b> <b>○問題をつかむ</b> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>【問題】</b>                      おなじかたちになるように                      いろいろたをならべよう。                      </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三角が見える。</li> <li>・四角が見える。四角の作り方はどうだったかな？</li> </ul>	◇色板を使って作った作品の中から一つを提示して、どんな形が見えるか話し合う。 ◇まっすぐなところを合わせることを確認する。	
	<b>○課題をつくる</b> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                         いろいろたのなればかたをかんがえよう。                     </div>		
みとおす	<b>2 色板を並べ、指定された形を作る。</b>	<div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center; background-color: #e0f0ff;"> <b>児童の思考過程の見える化</b> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇シルエットを手本にしながから、色板を並べて形を作る。</li> <li>◆並べ方の見通しが立たない児童には、シルエットの書いた紙を渡しその上に色板を並べさせる。</li> </ul>	
さぐる	<b>3 完成したアヒルの絵を比較し、相違点を考えさせる。</b> (個人→ペア→グループ)  	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇色板の向きが違ってても同じ形ができることを押さえる。</li> <li>◇色板を動かすときの操作方法（まわす、裏返す、移動する）を確認する。</li> </ul>	
深める・広げる	<b>4 他のシルエットを、色板を並べて作る。</b> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                         みんながつくった                          さくひんのシルエット                          があります。いろいろた                          をならべてつくり                          ましょう。                          </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇レベル別に課題を用意し、児童に選択させる。</li> <li>◇色板を裏返して色を変えることでできる模様作りをさせる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center; background-color: #e0f0ff;"> <b>学びを深める手立て</b> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇板を何枚使ったかを数えさせ、同じ形を作るときは、並べ方が違ってても枚数は同じであることを確認する。</li> <li>◆難しい場合は、シルエットの上に色板を置いて考えさせる。</li> </ul>	○色板を動かしたり並べたりしながら形を作っている。(児童観察, ワークシート)

問 い 直 す	<p><b>5 問い直しの活動を行う。</b></p> <p><b>【問い】</b> おなじおおきさ，おなじかたちのいろいろいたなの に，たくさんのかたちができたのはどうしてだろ う。</p>	◇本時で作った形のほかに， これまでの時間で作ってき た作品を掲示し，たくさん の違う形ができたことを意 識させる。
ま と め る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三角の色板の置き方を変えたから。</li> <li>・色板の向きを変えた。</li> <li>・角を上にした。角を下にした。</li> <li>・三角の色板を動かしたから。</li> <li>・色板を回した。</li> <li>・色板を裏返した。色が変わって模様できた。</li> <li>・色板をずらすと別の形ができた。</li> </ul>	
振 り 返 る	<p>㊦ おなじかたちでのつくりかたがいろいろあ るものがある。いたをずらしたり，まわした りうらがえしたりするといろいろなかたち ができる。</p>	◇授業で分かったこと，友達 から学んだことを振り返ら せる。(1)(2)
	<p><b>6 振り返り</b></p> <p>㊧ 三かくけいをくるくるまわすといろい ろなかたちになることがわかりました。とも だちがつくったかたちは，さいしょはむず かしそうだとおもったけど，いたをまわし たり，ずらしたり，うらがえすとできま した。もっとむずかしいかたちをつくって みたいです。</p>	